

令和4年6月17日

公立大学法人 都留文科大学

理事長 山下 誠 殿

監事 渡辺和廣 

監事 宮本和之 

監査報告書

地方独立行政法人法第13条第4項及び第34条第2項並びに公立大学法人都留文科大学監事監査規程第3条及び第5条第1項の規定に基づき、令和4年6月10日、公立大学法人都留文科大学の令和3年度における業務の執行について定期監査を実施したので、同規程第10条第1項により、その結果を下記のとおり報告いたします。

記

1. 監査方法の概要

都留文科大学において関係職員から業務の執行状況について報告を受け、提出された監査調書等により監査を実施しました。帳票その他証拠書類の原本及び現物の照合確認並びに担当者からの概況聴取・質疑応答などの方法により実施いたしました。

会計監査については、財務諸表(貸借対照表、損益計算書、合計残高試算表)などを確認するとともに、事業年度内の特徴ある取引については、関係書類・帳票等の提示を求め、関係部署の担当者から説明を聞くなどして会計内容を監査いたしました。

業務監査については、中期計画に掲げられている112項目に対応した年度計画145項目の進捗状況等の報告と質疑応答により業務内容を監査いたしました。

2. 監査結果の概要

業務の執行は、適正に行われていると認められる。年度計画の進捗についても、順調であると認められる。

3. 是正又は改善を要する事項

(1) 会計監査

① 経常費用と経常収益について



令和3年度の経常費用は30.0億円で、前年度の31.4億円から1.4億円減少している。経常収益は30.6億円で前年度の32.4億円から1.7億円減少している。その結果、経常利益は0.6億円で前年度の0.9億円から0.3億円減少している。前年度よりも収益率は低下している状況である。

② 業務費について

令和3年度の業務費は28.2億円で、前年度の29.3億円から1.2億円減少している。業務費の経常収益に対する比率は91.9%で、前年度の90.6%から上昇している。今後も、節約できるところは節約していくという姿勢を維持していただきたい。

③ 一般管理費について

令和3年度の一般管理費は1.9億円で、前年度の2.1億円から0.2億円減少している。一般管理費の経常収益に対する比率は6.2%で、前年度の6.5%から低下している。一般管理費についても、節約できるところは節約していくという姿勢を維持していただきたい。

(2) 業務監査

- ① 新たに策定された第3期中期計画の初年度としては、大項目別の評価でbが3項目とはいえaが4項目あり、又、全体評価がAとなっていて（ただ、最小単位別の評点平均値は3.5でBに近いAである）、新型コロナウイルスによる影響を差し引いて考えると、目標達成度や計画の進捗は概ね順調と言えます。令和4年度も引き続きコロナ感染防止の諸対策をとられて年度末には目標値に一層近づけますようご尽力をお願いします。
- ② 最小単位項目で達成度が1の評点のものが多くありますが、コロナの影響を受けたものがほとんどでやむを得ないと思います。【No.31】の三者協議については学生の支援も含めて開催出来るようにご尽力をお願いします。中間の監査でも指摘しましたが、【No.43】のチャレンジプログラムは応募が1件だけで低調となっており、募集を年4回、プロジェクト終了を年度末とするなどの要綱の改正を行ったということです。周知を充分にして学生に関心を持ってもらい、使い勝手の良い事業になるよう期待します。【No.51】、【No.52】、【No.88】は外部の研究費の利用等の促進努力をお願いします。
- ③ 教職、民間企業とも就職に関する支援、アフターケアは充実していると評価できます。就職に関することは大学の評価にもなりますので、一層のご尽力をお願いします。なお、関連してインターンシップが達成度1でしたが、早くコロナが収束して受入先数が増えることを期待します。
- ④ 教員の配置（【No.21】～【No.23】）については、計画どおり達成できており評価します。
- ⑤ 新棟建築については1期工事が終了し、2期工事が進んでいるようですが、大学生にとって大切な自主的学習を促す機会や場所を提供するということで、新棟完成後にラーニングコモンズ等が大いに活用されることを期待します。
- ⑥ 学生への食生活への支援や修学支援にご努力されていることが理解できました。

ただ、退学者が4名いたことは大変残念です。経済的理由による退学者が出ないように引き続きのご尽力をお願いします。

- ⑦ 最近、ハラスメントが多様化しており、大学においても特に注意を払う必要があります。指針の早期完成と周知をお願いします。
- ⑧ 研究水準・研究成果に関する項目（【No.46】～【No.48】）がいずれも達成度5であることは喜ばしいことだと思います。研究水準の底上げは大学として必須です。引き続き良い結果を残せるよう期待します。
- ⑨ 水道光熱費等の経費の削減はまずまずの結果のようですが、ペーパーレスについては、時代の要請ですし、資源保護、環境保全の観点でも大切です。対面授業になると印刷費が増えるおそれがあります。一層のご努力をお願いします。

※業務監査中の【No. 】は、中期計画の最小単位に付している番号を示す。

以 上